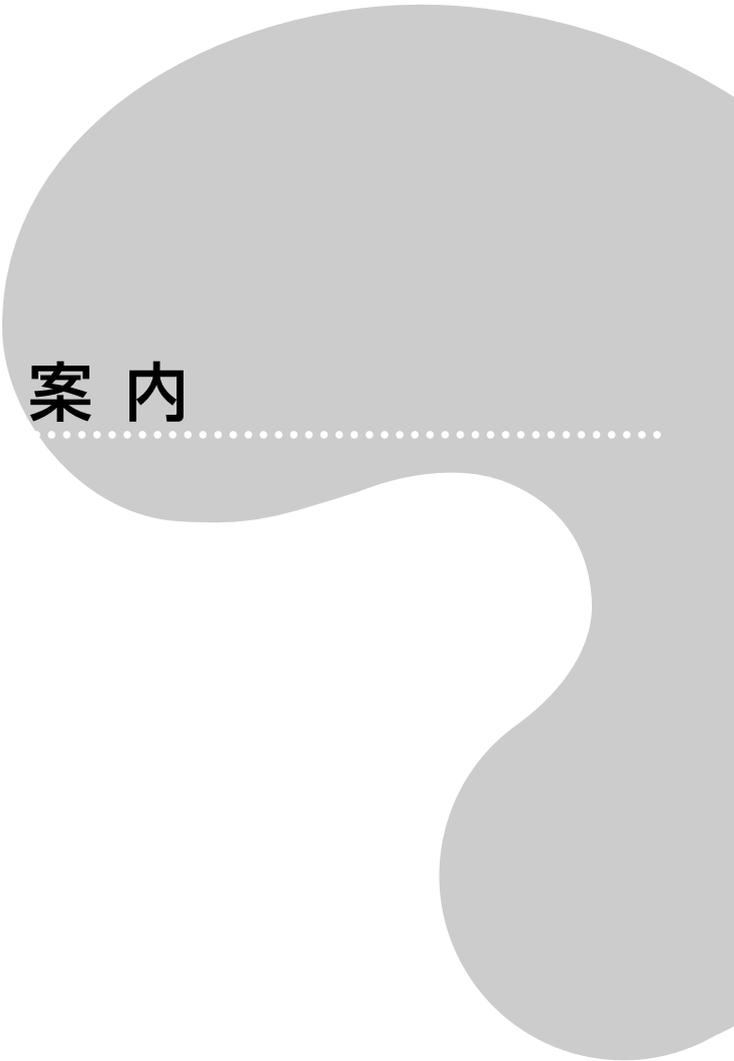


7部

ご案内



レポート、スクーリング、科目修了試験等のお進み具合はいかがでしょうか。合格レポートが増えていく楽しみ、勉強したことが役立つ楽しみ等、モチベーションアップの仕方を見つけられるとよいですね。

1 // 10月進級(継続)生の方へ

●新年度の送付物

※発送(予定)日より1週間たっても届かない場合は、至急ご連絡ください(以降のご連絡には対応できません)。

※新入生は該当しません。

対象者	発送物	発送(予定)日
学費納入をした10月生の正科生	履修希望科目登録用紙、返信用封筒(桃色)、学生証有効期限シール(注1)、氏名バーコード・事務連絡用封筒(往信用・返信用各5枚)、レポート提出台紙20冊(別便。5年次以上進級者は除く)	入金後10日以内
履修登録をした10月生の正科生	教科書(注2) ※超過履修がある方には先に納入依頼書が届きます	履修希望科目登録用紙が本学到着後10日以内
学費納入をした10生 生の科目等履修生	①教科書(注2) ②学生証有効期限シール、氏名バーコード ※①②は別便	入金後10日以内

(注1) 履修希望科目登録用紙に同封の手紙に貼付しています。

(注2) 2019年度の履修登録科目が記載された「東北福祉大学教材送付明細書」が同封されます。確認のうえ保管ください。

●学費の分割納入について

年間の学費の分割納入を希望する場合、「オリコの学費サポートプラン」の利用が可能です（『試験・スクーリング情報ブック2019』 p. 42参照）。

2 発送物のご案内

科目修了試験（9月）、スクーリング（夏期・秋期（一部科目を除く））評価（履修状況票） 10/8発送予定（欠席者は除く）

※「社福・精保演習・実習」スクーリング評価 本冊子8部参照

※「乳児保育」スクーリング評価 8/8発送済

スクーリング受講料の返金

夏期スクーリングまでの事前連絡欠席者への受講料返金（9/4到着分） 9/30までに返金予定（秋期スクーリング受講料の返金は11月下旬ごろ返金予定）。

（注）返金は下記①②を行うことで可能となります。

①スクーリング開始時間までに通信教育部へ欠席の事前連絡。

②『学習の手引き』4章3節（2016年版以前は8章）記載の方法で郵送による返金申込手続き。

3 スクーリングに関するご案内

●追加開講

「'18～学習・言語心理学」「～'17学習心理学」

【オンデマンド・スクーリング】 オンデマンド14

※次号『With』140号にてご案内

『09～ 社会福祉援助技術総論』(再掲)

【ビデオ・スクーリング】 11/9・10・17 仙台駅東口キャンパス

※前号『With』138号 p. 30参照

【オンデマンド・スクーリング】 オンデマンド12

※本冊子 p. 32参照

●2020年度スクーリング開講予定について

12月下旬に通信教育部ホームページ、および1/21発行の『With』141号にて、ご案内を開始する予定です(東京オリンピック2020への対応については前号『With』138号 p. 55～56参照)。

4 印刷物記載内容追加・訂正のご案内とお詫び

ご迷惑をおかけしますが、『With』136～138号の記載内容と併せて訂正のうえご使用ください。大変申し訳ございません。

●『レポート課題集C(心理専門編)2019』

(1)

ページ数	訂正事項	訂正内容
p. 81 9行目	2単位めアドバイス	(誤) 問題への回答 (正) 問題への解答
p. 188 下から2行目	最近の教科書変更時期	(誤) 2018年4月 (正) 2019年4月
p. 290 下から5行目	卒業研究の受講条件	(誤) 受講申込締切日(4/5 or 10/5)までに、 (正) 受講申込締切日(4/5 or 10/5)までに「 <u>卒業研究</u> 」を履修登録し、

(2) p. 185～187への追加

「障害者・障害児心理学」について、下記が追加になります。併せてご参照ください（客観式レポート課題は、次号の『With』140号に掲載予定です。それまでは履修登録者に送付いたします。遅くなっており大変申し訳ございません）。

■教科書

田中農夫男・木村進 編著『ライフサイクルからよむ障害者の心理と支援』福村出版、2009年

（スクーリング時の教科書）スクーリングでは上記教科書は部分的に使用します。基本はレジュメが中心になります。

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	障害の意味を考える (序章2)	障害という言葉の意味と変遷をWHOの考え方なども手掛かりにしながら学ぶ。 キーワード：ICF、ICIDH、機能障害、能力障害	障害という現象は、ある部分は変えようのない現象であり、またある部分は相対的な現象です。これらを柔軟に捉える事がよりよい支援の土台になります。
2	視覚・聴覚障害の心理 (1～2章)	感覚の障害が引き起こす心的体験を理解する。 キーワード：触覚、聴覚、点字、手話・口話	感覚は私たちの生活を下から支える、縁の下の力持ちみたいな存在です。その感覚機能が十分に働かない状況で、私たちの心的世界はどのような影響を受けるのか考えてみましょう。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
3	言語障害の心理(3章)	言語の障害が引き起こす心的体験を理解する。 キーワード：表象符号、失語症、構音障害	言語は非常に抽象的な存在です。そして抽象化する能力は私たちの知的機能と非常に密接に関連しています。その言語機能が十分に働かない状況における心的世界の姿を学びましょう。
4	病弱・肢体不自由の心理(4～5章)	病弱や肢体不自由の障害が引き起こす心的体験を理解する キーワード：内部障害、病弱、運動障害、自己意識	身体的機能が十分に働かない場合、私たちは行動に多くの制限を受けます。それは心的な成長にとっても大きな影響を与えます。それらの関係性について考察しましょう。
5	知的障害の心理(6章)	知的能力の障害が引き起こす心的体験を理解する。 キーワード：知能、知能検査、注意記憶、学習、語用論	知的能力は私たちの行動の非常に多くの部分と関連する、いわば要のような機能です。知的機能が十分に働かない場合、様々な行動に適応上の問題が生じます。知的機能の遅れとはどういうことなのか、何故それが行動形成にとって重要なのかを理解しましょう。
6	発達障害の心理① ASDについて(9章)	自閉症スペクトラム障害(ASD)の行動特性について理解する。 キーワード：レオ・カナー、ハンス・アスペルガー、心の理論	ASDは発達障害の中でも特に対応の難しい、そして幼児期から児童期にかけての心理臨床で多く見られる障害です。自閉症を取り巻く考え方は症状への理解が深まると共に変化していますので、ASDに関する正しい理解を、その歴史の変遷とともに学びましょう。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
7	発達障害の心理②その他の発達障害について(7～8章)	注意欠如多動症(ADHD)や極限性学習症(LD)など、その他の発達障害について、その行動特性について理解する。 キーワード：ADHD、LD、薬物療法、通級学級	ADHDは行動抑制に問題が生じる発達障害です。またLDは学習の一部分に特化した困難さを抱える障害です。これらは児童期の学校生活において不適応を生じさせやすいものです。ADHDは医学的な対応方法も提供されているところですが、現実にはそれだけでは対応が困難です。それらの現実を想像しながら学んでいきましょう。
8	精神障害の心理(10章)	統合失調症やうつ病といった精神障害について、その特性を理解する。 キーワード：精神保健福祉法、統合失調症、気分障害、精神科リハビリテーション、復職支援プログラム	思春期や青年期は、精神症状の好発年齢です。なかでも統合失調症や気分障害(うつ病)は2大精神疾患として知られており、支援をする際は正しい理解が求められます。各々の病態や治療アプローチについて学んでいきましょう。
9	障害者への支援①家族・家庭支援(11～12章)	障害の受容過程や家族支援の必要性・意義について理解する。 キーワード：家族機能、性別役割分業、家族システム論、悲嘆のプロセス	障害への支援は、患者本人へのアプローチだけでなく、家庭や家族という集団に対する働きかけが、時に非常に重要になってきます。家族という小さな社会の中で起こる力動を理解して、システムという視点で病理を捉え支援する方略を知りましょう。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
10	障害者への支援②心理療法 (14章)	心理アセスメントや心理療法の基本原則や方法について理解する。 キーワード：心理アセスメント、心理療法、デイケア	発達や精神の病理と向き合う場合、単に「対応方法」を知るだけでは相手に適した関わりを提供できません。相手の状況を正確に理解し、適切な援助を行う為に、心理アセスメントや心理療法の基本を学んでいきましょう。
11	障害者への支援③生活の質 (16章)	障害への対応としてQOLがいかに重要なのかを理解する。 キーワード：QOL、ADL、EBM、欲求段階説	障害と共に生きる場合、生活の質という視点が特に大切になります。生活の質とは何か、どのような側面を考慮する必要があるのか、生活の質を捉えるとは何か、などについて理解を深めましょう。
12	障害者への支援④就労支援 (17章)	就労支援に関するいくつかのアプローチについて理解する。 キーワード：障害者の雇用の促進等に関する法律、ジョブコーチ、一般就労、福祉就労、応用行動分析	障害の有無にかかわらず、就労は私たちが社会の一員として生活していく上で、とても重要な役割を担っています。障害を持ちながら就労をすることについて、その制度やサポート方略について学びましょう。
13	幼年期の障害 (18章)	幼年期に見られやすい障害について整理する。 キーワード：発達障害、児童虐待、トラウマ	幼年期は発達の土台を作る大切な時期です。この時期に生じる可能性のある障害を再考し、それらが心的成長にどのような影響を与えるのか、考察しましょう。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
14	特別支援教育（19章）	児童期の発達支援として重要になる特別支援教育について理解する。 キーワード：特別支援教育、通級	特別支援という言葉は昨今、だいぶ社会的な認知度が高まってきました。小中学校のみならず、幼稚園や保育所、高等学校でも特別支援の考え方が求められます。その基本的な考え方や仕組みについて理解しましょう。
15	老年期の問題（20～22章）	老年期に見られる行動上の問題を理解する。 キーワード：適応、認知症、介護	高齢化社会が進む中、老年期の心理行動上の問題とそれへの対処は重要な社会的課題です。老年期のそれら特徴について、概観しましょう。

■レポート課題

1単位め	客観式レポート課題に解答してください（『With』140号に掲載予定。それまでは履修登録者に配付します）。
2単位め	認知のエラーや対人関係上の疎通が悪くなる障害として自閉症スペクトラム障害と統合失調症がある。この二つの障害はどのような部分が類似して、どのような部分が異なっているであろうか。それぞれの症状の基準、病理モデルについて整理した後、両者を対比させながら論じなさい。加えて、治療に関するアプローチについても対比しながら論じなさい。

※提出されたレポートは、添削指導を行い返却します。

■アドバイス

発達や精神の症状は、表面に現れる行動のみではその本質が見えてこないものが多々あります。ここでは、症状の根底にある病理のメカニズムについて意識を向けながら学んでください。

【1単位めアドバイス】

教科書をよく読み、別紙の客観式レポート課題に解答してください。
「TFUオンデマンド」上で解答することも可能です。

【2単位めアドバイス】

自閉症スペクトラム障害（ASD）は幼児期から見られる障害として、また統合失調症は特に思春期以降に顕著になりやすい障害として、いずれも心理臨床にとって非常に重要な障害の二軸です。そしてそれらの障害は表面的に似ている部分が見られます。歴史を振り返っても、ASDはかつて「小児分裂病」と呼ばれていた時期がありましたし、統合失調症をSchizophrenieと名付けたブロイラーによる症状の記述の中には「自閉」という言葉があるくらいです。ですが現在、両者は異なった症状として記述されています。この二つの障害について考察を深めてください。

まず各々の症状の基準について、正しく整理しましょう。DSMやICDといった診断基準に関して述べている書籍が役に立ちます。ここで大切なのは、単に基準を列挙する事に留まらないことです。列挙しただけでは自分の言葉として理解することができないはずで、それが表す内容を他人に伝えられるレベルまで理解してから記述してみてください。その後、それらの症状がなぜ生じるのか、という病理の「モデル」について調べてみてください。病理モデルとはその症状が発生するに至るメカニズムを整理したものです。二つの障害のモデルを対比してみましょう。そして、各々の具体的な行動例を列挙してみると、類似点と相違点が見えてきます。なぜ類似するのか、でもなぜ病態として異なるものだと定義されているのか、などについて考察してみてください。それぞれを単独で説明するのは十分ではありません。両方を同じテーブルの上で比較することが大切です。加えて治療アプローチですが、行動的に似た部分のある二つの症状なのになぜアプローチが異なるのか、についても考察してみてください。

■レポート 評価基準

- ・それぞれの診断基準について、正しく論述できているか
- ・それぞれの症状について、その病理モデルを述べられているか
- ・具体的な行動像を列挙し、それを対比できているか
- ・治療アプローチの異同について、お互いに関連づけながらその理由を含めて考察できているか

●『客観式レポート集2019』

ページ数	訂正事項	訂正内容
p. 80	障害者福祉論 問題2の問題文末に追加	(正)…以下の【選択肢】の中から 選び解答欄に記号を記入しな さい(重複可)。
	障害者福祉論 問題3(3)の語群	(誤) ク. 措置（一時保護、後見審判 請求等） ケ. 障害者虐待防止センター (正) ヤ. 措置（一時保護、後見審判 請求等） ユ. 障害者虐待防止センター ヨ. 事実確認(立ち入り検査等) ラ. 障害者更生相談所 リ. 障害者権利擁護センター
p. 87	保健医療サービス論 担当教員	(誤) 佐藤英仁/山本邦男 (正) 佐藤英仁
p. 218	心理学実験Ⅱ A 問2、問3	(誤) 余剰変数 (正) 剰余変数
p. 274	臨床心理学概論Ⅰ・臨 床心理学 問題5の選択肢番号	(誤) 4. 客観性 (正) 1. 客観性

p. 290	司法犯罪心理学 (問題11)	(誤) 犯罪や非行の発生件数は、景気に影響される波がある、と言われている。 (正) 犯罪や非行の発生件数に最も大きな影響を与える要因は <u>景気</u> である。
--------	-------------------	---

● 『With』 138号

ページ数	訂正事項	訂正内容
p. 97・98	臨床心理学概論Ⅱ レポート課題・アドバイス	<u>「1単位め」</u> を削除し、 <u>「2単位め」</u> を「1単位め」に変更

5 履修登録に関するご案内

- 「臨床心理学概論Ⅱ」「心理学的支援法Ⅲ」「神経・生理心理学」の特別追加履修登録（既報『With』137号 p. 42）

8/15で締め切りました。今後の履修登録は、進級時か、または規定の時期の追加履修登録をご利用ください。

6 レポート学習に関するご案内

スクーリング受講された科目（S科目を除く）のレポートは、講義内容を忘れないうちに早めの提出をお勧めします。

また、下記サポートも実施しておりますのでご利用ください。

●レポート学習のサポート

1) 卒業生への質問・相談会

仙台会場スクーリングの昼休みに開催しています（不定期）。

2) レポート学習等にかかわる教員への質問のご案内（予約制）

『試験・スクーリング情報ブック2019』 p. 37～38をご参照ください。

3) 職員への学習相談

仙台駅東口キャンパスにおいて、窓口対応時間（9：00～17：30）に、職員がレポートの基本的な書き方、資格取得、卒業に向けての学習計画など、相談に応じています。事前予約をお願いします（メール（uc@tfu-mail.tfu.ac.jp）・FAX・電話）。

●「健康・医療心理学」「神経・生理心理学」「障害者・障害児心理学」客観式レポート

「健康・医療心理学」「神経・生理心理学」の客観式レポート課題（郵送版）の発送状況については、下記のとおりです。

- ・ 8 / 7 までの履修登録者：8 / 7 発送済（Web 配信済）
- ・ 8 / 8～28の履修登録者：履修登録時に発送済（9 / 2 Web 配信済）
- ・ 8 / 29～9 / 10の履修登録者：履修登録時に発送予定（9 / 15 Web 配信予定）
- ・ 9 / 11～19の履修登録者：履修登録時に発送予定（9 / 30 Web 配信予定）

「健康・医療心理学」「神経・生理心理学」の9 / 20以降の履修登録者で、郵送版での提出をご希望の場合は、本冊子巻末の客観式レポート課題の解答欄のページをA 4判に拡大コピーのうえ、2単位めの論述式レポートとともにレポート提出台紙に貼り付けてご提出ください。

「障害者・障害児心理学」の履修登録者は、p. 43(2)の下線部分をご参照ください。

●「データ分析とプレゼンテーション技法」2単位めレポート提出方法

完成したレポートを添付ファイルとして、ur@tfu-mail.tfu.ac.jp へてメール提出が可能です。通常の郵送による提出も可能です。

●レポート添削の状況について

9/11現在、8/6午前中までに通信教育部に到着したレポートで未返却の科目は下記のとおりです。いましばらくおまちください。その他で未返却の科目がございましたら、通信教育部事務室にご連絡ください。

「統計情報を見る眼」「社会福祉援助技術総論」「社会福祉援助技術論A・B」「社会福祉援助技術演習B」「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ・A」「家族心理学」「社会・集団・家族心理学B（家族心理学）」

7 学習全般・その他に関するご案内

●2019年度で閉講となり、学習・単位修得ができなくなる科目

『試験・スクーリング情報ブック2019』p. 36の「2019年度で閉講」に記載の科目は、2020年3/31までに単位取得できるよう、学習をご計画ください。

●奨学金のご案内

下記(1)(2)のとおり、各奨学金の申請を受け付けます。希望者は『学習の手引き』9章（2016版以前は11章）の奨学金の案内も参照のうえお申込みください。

(1) 「日本学生支援機構奨学金」

【申込資格】 12～3月のスクーリングを1科目以上受講（オンデマンド・スクーリングを含む）する正科生で、10月1日現在、下記の条件を満たした方。

新入生：『学習の手引き』参照 2年次生：20単位以上を修得

3年次生：40単位以上を修得 4年次生：60単位以上を修得

【申込締切】 11/20必着

【申込方法】 『学習の手引き』巻末様式16の提出

(2) 「東北福祉大学通信教育部奨学金」

【申込資格】 在籍1年以上の成績優秀な10月生

【申込締切】 10/15必着

【申込方法】 『学習の手引き』巻末様式17の提出

8 大学・その他機関からのご案内

●国見祭（学園祭）のご案内

10/19(土)・20(日)の2日間、国見祭（学園祭）を開催します。今年のテーマは「IMPACT」です。日頃の課外活動の成果発表や模擬店など、沢山のイベントを企画しています。お誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。詳しくは、国見祭ホームページ（<https://www.tfu.ac.jp/club/kunimisai/>）をご覧ください。国見祭実行委員会（電話022-233-3505）までお問い合わせください。

9 仙台駅東口キャンパスのご案内

(1) TFUギャラリー ミニモリのご案内（1・2階）

【ピクサー・ザ・フレンドシップ～仲間といっしょに冒険の世界へ～】

20年以上にわたって、本物の友情や家族との絆を描いてきたディズニー／ピクサー映画の世界観のなかで写真を撮りながら、その友情や絆を体験できます。

開催期間 9/13(金)～10/14(月・祝)

(休館日：9/17・24、10/1)

開館時間 平日11時～18時 土日祝10時～17時

(入館は閉館30分前まで)

入場料金 一般〔中学生以上〕1,200円(1,000円)

子ども〔小学生以下～3歳〕600円(500円)

※()は前売料金&ディズニーJCBカード優待料金

問合せ先 河北新報社事業部 電話022-211-1332

(2) 学食「TFU Cafeteria Olive」のご案内（1階）

落ち着いた雰囲気の中、ランチメニュー（学生価格500～800円）の他、コーヒーやケーキなどをお楽しみいただけます。スクーリングの昼休みなど、是非ご利用ください（定休日：月曜日）。

(3) 芹沢銈介美術工芸館のご案内（2階） p.77参照

(4) 生涯学習支援室から公開講座のご案内 p.55～56参照

(5) 予防福祉健康増進推進室からのご案内（地下1階） p.82参照

生涯学習支援室 公開講座のご案内

後期に開催される公開講座の受講申込み受付をしています。講座の詳細は、生涯学習支援室ホームページ www.tfu.ac.jp/llc/ をご覧ください。

申込方法：メール、FAX、ハガキのいずれか（電話での申込みはご遠慮ください）

※講座番号、氏名、住所、年齢、電話番号、FAX番号を明記してください。

申込・問合せ先：生涯学習支援室

983-8511 仙台市宮城野区榴岡2-5-26

東北福祉大学仙台駅東口キャンパス

電話：022-766-8834 FAX：022-766-8835 E-mail:life@tfu-mail.tfu.ac.jp

主なものは、下記の通りです。他の講座は、www.tfu.ac.jp/llc/ をご覧ください。

【禅に学ぶ】講座番号19004～19007

講師は、道元研究の第一人者である本学学長大谷哲夫先生です。道元禅師が生涯をかけて執筆した仏教思想書「正法眼蔵（しょうぼうげんそう）」、弟子たちが編纂した道元語録「永平広録（えいへいこうろく）」を読みながら、わかりやすく道元思想に触れていきます。大谷学長の講義を受けるチャンスです。各回、個別に申込み出来ます。

開催日時：9/4、11/6、12/4、2/12、(水)16:00～17:30 定員：各200名

講師：大谷 哲夫（本学学長） 申込締切：開催日の10日前 受講料：各回500円
毎回、内容が異なります。途中からの受講でも差し支えありません。

【「食」の話題を科学する】講座番号19032

「脳活動」と「肥満予防」は最近よく話題になることばです。これらのことについて、「食」の科学の視点から、実験研究成果などをまじえ、分かりやすく解説します。脳活動の活性化に及ぼす日本型食素材について、ならびに肥満予防に資する食行動のあり方について理解を深め、心身の健康のために役立てていただきたい。

日程：10/16(水) 「脳活動の活性化」に関わる食素材

10/23(水) 「肥満予防」と食行動

時間：13:30～15:00 定員：80名

講師：畠山 英子（本学教授）

受講料：全2回2,000円（事前振込） 申込締切：9/20(金)

【心身の健康を保って自分らしい生き方を考えよう】講座番号19034

中高年の時期は女性も男性も、身体の働きの衰えを感じる時期で、その衰えが心身の不調に結び付くことが大きい時期です。一方、多くの経験を積み重ね、知恵がたくさん身につけてきた時期でもあります。本講座では、日常生活の中で心身の健康を保ち、さらに高めていく方法について講義を行い、参加者の皆さんと一緒に自分らしい生き生きとした生き方を考えてみたいと思います。

開催日時：10/18(金) 14:00～15:30 定員：100名

講師：齋 二美子（本学教授）

受講料：800円（事前振込） 申込締切：9/20(金)

【単純性悲嘆（正常悲嘆）とは】講座番号19035

数十年にわたるケアを通して思うことです。普通に悲嘆で起きること（正常悲嘆、または単純性悲嘆）をもっと情報として学ぶ機会を真剣に考えるべきではないかと言うことです。生を受ければ、いつか死も訪れます。深いなじみの関係やお互いに頼り・頼られ生きていけば、その悲しさは耐えられないほど深く辛いことに、失ってはじめて気づくのです。それでは遅すぎで、慌ててしまいます。

「単純性悲嘆（正常悲嘆）」とはどのようなことかを確認していきましょう。

開催日時：10/29(火) 15:00~16:30 定員：100名

講師：宮林 幸江（本学教授・日本グリーフケア協会会長）

受講料：1,200円（事前振込） 申込締切：9/20(金)

【震災後と私たちの生活】講座番号19033

震災から八年が過ぎようとしています。震災は私たちの生活に何をもたらしたのか、震災後の生活はどのようなものだったのか、震災後に生きるとはどういうことなのか、私たちは今こそ震災が私たちの生活にとって何だったのかを問いかけ、考えるべきだと考えています。それぞれ異なった領域の先生方に講演していただきます。

日程：10/18(金)	震災後とこころのケア	渡部 純夫
10/25(金)	震災後と福祉	田中 治和
11/1(金)	震災後と文化財	門脇 佳代子
11/8(金)	震災後とこども	久間 泰弘
11/15(金)	震災後と宗教者による被災地支援	木村 尚徳
11/29(金)	震災後と生きる意味	斉藤 仙邦

時間：10/18~11/15(金)は、15:00~16:30。11/29(金)のみ16:00~17:30

講師：仏教文化研究所研究員による連続講座です。 定員：80名

受講料：全6回4,500円（事前振込） 申込締切：9/20(金)

【笑いと健康】講座番号19037

笑いについては、「破顔一笑」「抱腹絶倒」「怒れる拳笑顔に当たらず」「笑う門には福来る」などの言葉があります。笑いは、日常の生活や健康に様々な影響を及ぼしているといえます。

そこで本講座では、笑いの効用や日々の生活への活用について講義を行いながら、参加者の皆様と一緒に笑いを楽しみたいと思います。

開催日時：11/9(土) 13:30~15:00 定員：50名

講師：柏倉 栄子（本学教授）

受講料：800円（事前振込） 申込締切：10/18(金)

※受講料事前振込の講座は、申込締切以後に振込案内をお送りします。

スクーリング・アンケートより(3)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●就労支援サービス論 金子 光宏

- ・働くことの意味、自分が大事にしていることは何か、改めて考えてみたいという思いになりました。
- ・弱みを無理に強化するのではなく、強みをのばす支援が重要であることが理解できました。

●社会福祉援助技術演習A・I 芳賀 恭司ほか

- ・講義を聴くだけでなく、チームでいろいろな問題を話し合うのはとても新鮮でした。
- ・ほかの学生さんたちと活発な話ができてよかった。多種多様な生活、考え方を知る場になっていると思う。

●社会福祉援助技術演習C（実習免除者用） 三浦 剛ほか

- ・グループワーク中心の授業で、より実践に近い形だったため今後にいかにせる内容でした。同時に、アセスメントやプランニングというのがいかに大切かを思い知らされました。
- ・わかりやすく具体例を出してくださり、理解しやすかった。社会福祉士にとって必要なことをたくさん学びました。

●社会福祉援助技術実習指導B-3+演習C-2 山川 敏久

- ・多くの方の実習経験を伺い、興味を持ったことがたくさんありました。児童養護施設の実習報告では、子どもの将来について考えさせられました。
- ・グループワークなどスーパービジョン、ピア・スーパービジョンを実施し、実習の振り返りを効果的に行えてよかった。

●心理アセスメントI 渡部 純夫

- ・クライアントのいろいろな悩みの対応方法が詳しくわかった。
- ・実際のカウンセリングで対応した方法がとても勉強になりました。また、教科書に書いている内容も絶対ではない。クライアントによって多様な対応の仕方があるということが興味深かったです。

●司法・犯罪心理学 半澤 利一

- ・非行少年の気持ちとバックグラウンドとの関係性などが理解できた。自己肯定できることの大切さを実感し、家族でのかかわりに気づきもてた。
- ・さまざまな社会貢献があると感じた。わかりやすい授業でした。

スクーリング・アンケートより(4)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

- 心理学実験Ⅰ・ⅠA・ⅠB 佐藤俊人・大関信隆・山口奈緒美・半澤利一
・座学が多い心理系科目の中で、実際に身近な心理現象を測定して心の働きを考察する過程が新鮮でした。改めて心理学が科学に基づいた学問であることを認識できました。
・触2点閾やミュラー・リヤー錯視の実験は、教科書で読んだだけではよくわからなかったのが、実際に実験器具を使って実験することができとてもよかったです。スクーリングが必須である意味がわかった。
- 心理学実験Ⅱ・ⅡA・ⅡB 中村修・平川昌宏・柴田理瑛・平泉拓
・概念学習で、人はそこまで考えていなくても概念を持ってさまざまな事柄を区別しているのだと驚いた。そうすることで、1つ1つを覚えて認識するより脳の容量を節約してより多くのことを覚えられるようにしているのだと思った。
・スクーリングでなければ体験することができないような実験内容で、とてもよかったです。
- 心理学的支援法Ⅰ 重宗 祥子
・身近におきている課題にいろいろなところで心理学的支援が必要であり、特に子育てや高齢者の問題は、今後取り組むべき課題であると理解できた。
・範囲が広く専門的で難しい内容を、先生がポイントをしばってわかりやすく説明してくださり、とても理解が深まりました。
- 心理学的支援法Ⅱ 秋田 恭子
・さまざまな心理療法があり、本を読むよりDVDで実際の療法をみることで、それぞれの特徴がよく理解できた。
・日本はストレス社会なのに、心理学を学ばないといろいろな療法があることを知らずにいるのはもったいないと思う。
・社会のなかでもっと心理支援を自然に受けられるような時代になってほしい。きっと人や自分に優しくなれる社会につながると思う。
- カウンセリング演習Ⅱ 菊住 彰
・具体的で分かりやすいワークをこまめに入れることで、体験的にカウンセリングに必要な態度を知ることができました。また、自分自身のくせを知り内省する時間にもなりました。
・カウンセラーはあくまで、「クライアントに教えていただく」姿勢が大切であるとわかりました。